

令和元年度沙流川地区エゾシカ捕獲連携協議会（第1回） 実施報告

(1) 日 時 令和元年10月18日（金） 13時30分～15時00分

(2) 場 所 ふれあいセンターびらとり 小会議室

(3) 出席者

平取町2名、日高町2名、北海道猟友会沙流川支部2名、北海道森林管理局3名、日高北部森林管理署2名、受託者2名（計13名）

(4) 会議経過

1) 開会あいさつ

北海道森林管理局 根田監査官

2) 事業概要について

今年度の事業目的、事業工程、協議会と検討会の構成員やスケジュールについて確認した。

3) 捕獲地の選定について

候補地における簡易影響調査やSPUEの集計結果、現地調査の結果を踏まえて候補地について協議した。

○確認事項

- ・協議の結果、今年度の捕獲地は「除雪の体制が構築できない地域」は昨年度事業の実績があり、優位な材料が多いことから敷舎内林道に、「森林整備事業が行われる地域」は宮川の沢林道とする。
- ・除雪の体制が構築できない地域の追加実施の捕獲地を二風谷ダム右岸管理道とする。ただし、対岸の軽種馬育成牧場との調整ができる場合に限る。調整が難しい場合はアベツ林道とする。

質問	アベツ林道はまっすぐな林道で、ハンター側から見やすいということだったが、エゾシカからも見られやすく、逃げられやすいということはないのか。
回答	敷舎内林道のようにカーブが多い方が見つけるチャンスが多く、撃ちやすさとしても良い。
質問	地元の状況、ノウハウをいただけるとありがたい。

回答	アベツ林道は手前の農地まではいくがそれ以上山の方にはあまり行かないため状況はわからない。 平取町のほとんどのハンターはスノーモービルをやったことがない。
質問	簡易影響調査の結果をみると敷舎内林道の方がアベツ林道よりも点数が高い傾向だったが、草本類調査でみると逆であった。簡易影響調査の結果は3年分の平均なので、敷舎内林道の今年の結果は実際にはもう少し低くみるべきか。
回答	エゾシカの数や影響の結果だけでみるとアベツ林道の方が良いと思うが、敷舎内林道は、冬のエゾシカの状況や地形の事がわかっており、また昨年度との比較もできる。餌場の設置から悩むよりも、純粹に手法の検討に専念できるという意味では敷舎内林道の方が、良いのかなと思う。
質問	傾斜がある方が捕獲したエゾシカをスノーモービルで降ろしてきやすいと思うがどうか。
回答	敷舎内林道は登りが多いが、カーブも多い。アベツ林道は直線で傾斜も一部以外はほとんどなく緩やかである。
意見	町で実施している有害捕獲事業等への影響はないか。
回答	今年度は国有林内では一斉捕獲等は計画していないので問題ない。
質問	二風谷ダム管理道で捕獲を実施することについて、情報や意見があればいただきたい。
回答	アイヌ文化の関係はわからないが、手前の町有林はイオルの森と言われているので捕獲は禁止されている。冬場は町の方で入る予定はない。
質問	対岸の軽種馬育成牧場への影響について意見や情報があれば伺いたい。
回答	1-2月は軽種馬の繁殖の時期なので、実施するとなったら相談に来て欲しいとのことであった。過去にも狩猟とトラブルがあった例もあるようなので、一番敏感な時期でもあるし慎重に調整した方が良い。
質問	二風谷ダムがダメであった場合、アベツ林道を2カ所目として実施する可能性はあるか。アベツ林道は4番のカメラでエゾシカが沢山写っていた。ゲートからも近いようにみえる。
回答	昨年度敷舎内で捕獲を実施した際も3日目には捕獲数が落ちていた。場を休めるという意味でも、実施期間の間、敷舎内林道以外の場所で実施するのは有効である可能性がある。ただし、餌やりを同じ頻度で実施するのは非常に手間がかかってしまうため難しい。 アベツ林道の除雪終了地点はゲートから4km程手前の民家までで、4番でもそれなりに距離がある。
質問	敷舎内林道も除雪終了地点からは距離があるか。

回答	敷舎内林道は、昨年度は林道延長 8km でモバイルリングを実施した。沙流川林道との分岐より先の 2km は谷が深く傾斜が厳しい場所である。今年度は 6km 地点くらいで実施する考えである。
意見	二風谷ダムの周辺は地元のアイヌ協会からも山菜資源を育成すべきだという話をされている。それを考えると、エゾシカの管理も必要になり、さらに将来的には地元のアイヌハンターによる捕獲も検討している。 そういう意味でも軽種馬牧場とはしっかり調整をしてもらいたいと思う。
回答	銃と軽種馬の問題は、改めて関係機関に確認して最終判断をしたいと思う。
質問	森林整備事業が行われる地域での捕獲候補地について情報を伺いたい。
回答	捕獲のデータでは、三岩近くの牧草地から持ち込まれることが多く逆に宮川の沢の方の情報はあまり持っていない。ただし、三岩林道では岩内線の 2ヶ所（サンナコロの橋の両側）で災害復旧の工事が 3 月末くらいの工期で出ている。
意見	昨年度、3 月終わりに三岩林道の国有林に入っていくと、途中から標高が高くなるせいか痕跡がなくなる。SPUE をみても、秋は増えるが冬は少なくなるようにみえる。牧草地に影響を及ぼす個体を減らすのであれば、捕獲は秋か。冬の捕獲を考えるとあまりメリットは大きくないように見え、逆に宮川の沢作業道の方が冬に数が増加しており、実施するメリットがあるようにみえた。
意見	宮川の沢作業道は道の規格が小さいため、狭くて道路脇にあまりスペースがない。そこに丸太が置かれるため、囲いワナを置く場所があまりないことが懸念される。なお、オワイタカ線の伐採は 12 月中に終わる予定であるとのことである。宮川の沢は 2 月一杯まで伐採作業が入る予定である。
回答	課題を整理し、宮川の沢作業道で捕獲を実施する方針で準備を進めたいと思う。

4) 捕獲手法等の検討について

「除雪の体制が構築できない地域」および「森林整備事業が行われる地域」における捕獲手法および体制の確認をおこなった。

○確認事項

- ・スノーモービルを用いるため、昨年度の捕獲は夕方に照準をあわせて実施していたが、今年度は安全面を考慮し、午前中に実施する予定である。
- ・猟友会にお願いする部分については、まだ日程や体制が定まらないところもあり、もう少し整理して後日あらためて猟友会と調整する。

質問	射手が自分でスノーモービルを運転するイメージかどうか。
回答	まだ検討中である。今は運転手の後ろに射手が乗るイメージで考えているが、車と大きく異なるので、銃器の運び方も含めて、整理と検討が必要。
質問	スノーモービルは予想外に手が冷えることも課題か。ハンドルヒーターなども検討すべきか。また、銃を固定する台もなく、降りた場所も雪がフカフカで歩けない可能性もある。また後ろに座る場合も寒いため対策が必要である。
質問	体制については、猟友会とも調整中である。一人はスノーモービルを運転できる方がいるとのことであるが、射手も同時にお願いできるのかなど、車と違い寒さもあるので調整中である。また、捕獲実施の際には、麓に車で待機してもらい、猟友会に処理業者への運搬を2人お願いするつもりである。今年度の給餌は受託者で実施する予定である。日高地区についてはワナへの給餌をお願いしようと思う。
質問	捕獲個体の運搬車両はどうするか
回答	できれば運搬車両も出してもらえるとありがたい。もう少しお願いすることを整理してあらためてご相談したいと思っている。

5) その他
特になし



令和元年度沙流川地区エゾシカ捕獲連携協議会（第1回）の様子